

くすの木タイム6年

単元	これが前橋の魅力！ふるさと再発見プロジェクト		
目標	商店街の魅力やその発信方法について考え、働くことの意味や人と人のつながりの大切さを自覚し、自己の生き方を見つめ広げていく。		
評価規準	<p>(①知・技) 伝統ある店を営む商店街の方の人柄や地域への思い、商店街の昔ながらの文化と新たな「まちなか」の役割といった商店街の特徴やよさを理解している。お手伝い体験の店や場所の特徴やよさを比較することや関連付けることができたり、他者の解決方法を受け入れて合意形成を図ったりしている。</p> <p>(②思・判・表) 商店街についての課題を設定し、商店街について調べ、調べたことや他者の発言といった複数の情報を根拠として解決方法を導いたり実践したりしている。</p> <p>(③主体的態度) 商店街の方や文化、商店街の役割への関心を高め、取組への思いや自信をもち、前橋市への親しみを感している。</p>		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
であう	1	○過年度のくすの木タイムでの自分たちの取組や他学年の取組を基に、関わりたい人・もの・ことに求める条件について話し合う。	○これまでのくすの木タイムでの取組から探究のよさを想起できるように、過年度のくすの木タイムでの具体的な活動とその時の成果が分かる振り返りシートや写真を提示する。
	2	○過去の6年生が作成した商店街カルタをしたりCMを見たりしながら、商店街の印象について話し合う。	○商店街を散策して自分で見たり聞いたりしたいという思いをもてるように、県や市の魅力度の改善に向けて全国的に注目されている前橋中心商店街の取組を示した資料を提示する。
	3	○資料やwebページで商店街の概要を調べ、分かったことと、商店街の方と客に聞きたいことを話し合い、散策する計画を立てる。	○商店街の方と客に聞かないと分からないことをもてるように、商店街の歴史や各通りと店、地域コミュニティ施設等の概要を知る商店街マップや紹介冊子をwebページに加えて用意する。
	3	○商店街を散策し、計画に沿って調査する。	○商店街の方や客に聞いたことを整理しながら記録できるように、質問内容と回答者の項目で区切ったマトリクスを用意する。
	2	○調査結果を整理し、分かったことや疑問を基にこれから取り組みたいことを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 学習のめあて 商店街の魅力を再発見し、発見したことを広めよう </div>	○商店街の方が感じる商店街の魅力、商店街に若者が増えつつありながらも商店街の魅力を知らない人が多くいることに気付けるように、「商店街の方や客の商店街についての思い・好きなところ」の視点を提示する。
かかわる	6	○課題を設定するにあたり、再度商店街で調査すべきことを話し合っただけで散策する計画を立て、散策したり商店街組合の方の話の聞いたりして調査する。	○商店街の方や客に聞いた商店街の魅力に関わって再度調査をしたいことをもてるように、前回の調査結果の模造紙と第2・3時に話し合った商店街の印象の模造紙とを並べて掲示する。
	2	○商店街の散策をして、気付いたことや疑問を話し合い、課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 課題：商店街の魅力とはどのようなものだろう。 </div>	○自分たちで商店街のよさを発信できるくらい商店街について詳しくなりたいという思いと、これから取り組みたいことをもてるように、商店街の散策を振り返る「意外だったこと」の視点を提示する。
	3	○課題の解決に向けた学習計画を立てる。 解決方法例…a商店街でのお手伝い（職場）体験 b商店街でのイベント参加・運営手伝い（めぶくフェス等） c商店街でのイベント企画（商店街の様子 のポスターコンテスト・写真展・マップ作り等） ※以下はaの活動例	○課題を解決した状態を、商店街のよさを発信できるくらい詳しくなった状態として具体化し共有できるように、「課題を解決した状態への到達状況を評価する人と方法」の観点を提示する。
	4	○商店街を散策し、自分が詳しくなりたいと思う店や場所を見付ける。	○商店街の方や客と話ができるように、散策する班を少人数で編制する。
			評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」 ◇人・もの・ことに求める条件として、地域の役に立ち、自分の将来のためになるといった、これまでの取組を基とした思いを記述している。 <学習プリント③> ◇商店街の様子や、商店街の方や客の思いについて知りたいことを記述している。 <学習プリント③> ◇資料やwebページで分からないことを基に商店街の方と客に聞きたいことを記述したり発言したりしている<学習プリント・発言②> ◇商店街の方や客に聞いたことを質問内容別に記述している。 <学習プリント②> ◇商店街に若者が増えつつありながらも商店街のよさを知らない人が多くいることを記述している。 <学習プリント②>
			◇調査した商店街の魅力について、自分なりの疑問や調査したいことを記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言②> ◇商店街について詳しくなりたいという思いと、これから取り組みたいことを記述している。 <学習プリント①②③> ◇商店街の店や場所に詳しくなる方法として、その店や場所の手伝いやインタビュー調査などの必要な活動を記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言②> ◇商店街の方や客と関わり、感じたことを記述している。 <学習プリント・行動①>

2学期 ↓	5	○商店街の方との打合せで決めるべきことを話し合って計画を立て、自分の選んだ商店街の店や場所へお手伝い体験の依頼をし、打合せをする。	○学級全体で、打合せで決めるべきことの候補を考えられるように、お手伝い体験の疑似体験をしながら疑問に思ったことを拡散的かつ分類して整理するウェビングかく模造紙を用意する。	◇商店街の方との打合せ事項を決め、記述している。 ＜学習プリント②＞
	8	○お手伝い体験をし、お世話になった店や場所のよさをまとめる。	○お世話になった店や場所のよさを整理しながらまとめられるように、X・Wチャートやポーン図を用意する。ポーン図を使用する際には、店や場所のよさをキャッチコピー風にまとめてから図に根拠を書き出す手順を提示する。	◇商店街の方や客と関わっている。＜行動③＞ ◇お世話になった店や場所のよさを、その根拠とともに記述している。＜学習プリント②＞
	3	○お世話になった店や場所のよさを発表し合い、さらに知りたいことや手伝いたいことを話し合う。	○知りたいことや手伝いたいことを話し合う中で、店の方や客の立場に立ってお手伝い体験の取組を振り返られるように、「その店や場所の方が大切にしていること」の視点を提示する。	◇知りたいことや手伝いたいことの根拠として、店の方や客の立場に立って考えたことを記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言②＞
	4	○自分の選んだ商店街の店や場所ごとに、次のお手伝い体験の準備をしたり、その店や場所へ依頼をしたりする。	○お手伝い体験の店や場所が同じ友達と次のお手伝い体験の準備に必要なことを決められるように、「その店や場所の方にとって必要なこと」と「時間内に準備できること」の視点とピラミッドチャートを用意する。	◇お手伝い体験の店や場所が同じ友達と共感的に考えを受け入れながら準備をしている。 ＜行動・発言③＞
	7	○お手伝い体験をし、お世話になった店や場所のよさをまとめる。	○お世話になった店や場所のよさを整理しながらまとめられるように、X・Wチャートやポーン図を用意する。ポーン図を使用する際には、店や場所のよさをキャッチコピー風にまとめてから図に根拠を書き出す手順を提示する。	◇商店街の方や客の立場を考えて関わっている。＜行動③＞ ◇お世話になった店や場所のよさを、その根拠とともに記述している。 ＜学習プリント①②③＞
3学期 ↓	5	○お世話になった店や場所のよさを発表し合い、前橋の街の魅力について話し合う。	○今までの取組の成果を実感できるように、お世話になった店や場所のよさの発表や街の魅力についての感想を記述していただく用紙を用意する。	◇感想を基に、今までの取組の成果を記述している。 ＜学習プリント③＞
	2	○今までの取組への商店街の方の感想や商店街の抱える悩みから、気付いたことを話し合い、課題をつかむ。 課題：商店街を歩いている人が店や場所へふと訪れたいくなるようにするには、どうしたらよいだろうか。	○お手伝い体験をした店や場所のよさを伝える必要を感じ、これから取り組みたいことをもてるように、商店街の方や客から聞いた前橋の街に対する思いを振り返る「意外だったこと」の視点を提示する。	◇追求の目的として普段から街のよさが街の人に伝わったり街に人が増えたりする状態を目指すことを記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言②＞
	2	○課題の解決に向けた学習計画を立てる。	○課題を解決した状態を、商店街を歩いている人が店や場所にふと訪れる状態として具体化し共有できるように、「課題を解決した状態への到達状況を評価する人と方法」の観点を提示する。	◇発信方法を選ぶための、ニーズ調査などの必要な活動を記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント①②③＞
・まいと かめ する	7	○街の人へのニーズ調査を行い、その結果から商店街の店や場所のよさの発信方法を選び、実践する。 例：ポスター、リーフレット、看板、動画づくり	○お手伝い体験をした店や場所のよさについてまとめる方法を選択できるように、他の商店街で行われているPR事例を示した資料を用意する。	◇発信したい店や場所のよさに合わせた方法でまとめている。 ＜製作物①＞
	1	○商店街の方や客の感想を基に、今までの取組の成果をまとめ、単元全体の学習を振り返る。	○商店街の方との関わりから自らが影響を受けたことや自らの成長を自覚できるように、「第2・3時と今の自分の認識との違い」の視点を提示する。	◇人と人とのつながりを大切にしたいといった思いや、自らの成長を記述している。 ＜学習プリント③＞